

科学技術人材育成のコンソーシアムの構築事業
次世代研究者育成プログラム
(実施期間：平成 27～34 年度)

コンソーシアム名：計算物質科学人材育成コンソーシアム

代表機関：東北大学（総括責任者：里見 進）

共同実施機関：東京大学、大阪大学、自然科学研究機構分子科学研究所

取組の概要

材料科学・物性科学・分子科学・材料デザインを中核とする物質科学分野で世界をリードする東北大学、東京大学、大阪大学、自然科学研究機構分子科学研究所が事業実施機関となって、計算物質科学人材育成コンソーシアムを形成し、広範な物質科学領域と基礎、応用、実用化の全段階を俯瞰しつつ、ハイパフォーマンスコンピューティング技術を駆使して物質科学分野の課題発見と解決ができる人材育成の環境を整備する。同時に、若手研究者の安定雇用につながる仕組みを構築する。そのために、

(1) 複数機関での滞在型共同研究を実施し、計算物質科学分野の複数領域の高次の専門性を有し広い視野を持つ次世代リーダーとなる研究者の育成、

(2) ビジネス・リサーチャー・スキルと企業のニーズにあった計算物質科学の素養を合わせ持つポストドクター、博士課程（後期）学生等のイノベーション創出人材の産業界へのキャリアパス形成とそのため仕組みの構築、
を行う。

(1) 評価結果

総合評価	進捗状況 (全般)	進捗状況 (システム構築)	進捗状況 (取組の内容)	体制構築	今後の進め方
A	a	s	a	a	a

総合評価：A（所期の計画と同等の取組が行われている）

(2) 評価コメント

計算物質科学分野で実績のある4機関が、本事業の推進に関する協定書及び、連携研究推進に関する覚書を締結して連携協力体制を確実なものとして事業を進めていると評価できる。さらに、他のコンソーシアムや関係するプログラムと連携しつつ、専門分野を超え、階層を超えた異分野融合を意識して若手研究者の流動性を高めている点は評価できる。イノベーション創出人材の育成については、育成を実験物質科学の分野に拡大する等の育成数増加に関わる改善策が具体的に提示されており、発展が期待できる。運営協議会、各種委員会、諮問委員会等は相互に協力して事業を推進する役割を果たしており、評価できる。今後は、若手研究者の雇用につながる仕組みを構築し、計算物質科学分野の国際的競争力の向上に向けて、産業界を巻き込んだ持続可能なエコシステムを構築することを期待する。

・進捗状況（全般）：次世代研究者の育成については、選定コメントに対応して当初の計画を1名上回る9名が採用され、すでに6名は滞在型研究を実施していることは評価できる。イノベーシ

ョン創出人材の育成についても、系統的なカリキュラム及びインターンシップ、単位システムを制定し、意欲的に取り組んでいる。しかしながら、コンソーシアムで選抜した採用人材数は目標を下回っており、改善策の奏功を期待する。

・**進捗状況（システム構築）**：他のコンソーシアムとのシンポジウム共催、計算物質科学スパコン共用事業との連携等により、取組を広範囲に発展させていることは高く評価できる。滞在型研究の取組は異なった研究文化、学問知識に触れることで、次世代研究者の流動性についての意識が高まるものであり、キャリアパスの仕組みとして高く評価できる。運営協議会において、年次評価、中間評価、最終評価が計画されており、評価に基づくインセンティブの付与が決定していることも評価できる。

・**進捗状況（取組の内容）**：次世代研究者の育成については、選考が適切に行われており、研究環境の整備が適正に行われていることは評価できる。また、次世代研究者の研究エフォートは90%となっており評価できる。イノベーション創出人材の育成においては、インターンシップ等のほか20科目以上の提供科目が用意され、内容の豊富な取組となっている点も評価できる。しかしながら受講者数は目標を下回っており、その原因の解析を通じて、改善が図られることを期待する。

・**体制構築**：運営協議会には連携機関から産学を交えて4名の委員が参加しており、その他の委員会を含めて、マネジメント体制は整備されており、適正に運営されていると評価できる。有識者からなる諮問委員会からの指摘事項が改善に結びついていることは評価できる。コンソーシアム長が事業計画、予算配分、機関視察等においてリーダーシップを発揮している点も評価できる。

・**今後の進め方**：次世代研究者をポスト京や関連する事業の職種へ送出して行く方針は妥当と認められる。イノベーション創出人材の育成については、対象とする人材を拡大することで、確実に育成者を増加させることを期待する。6年度目以降の長期的資金計画では企業からの協賛金を収入としているが、独自財源を含め、より明確な展望を期待する。